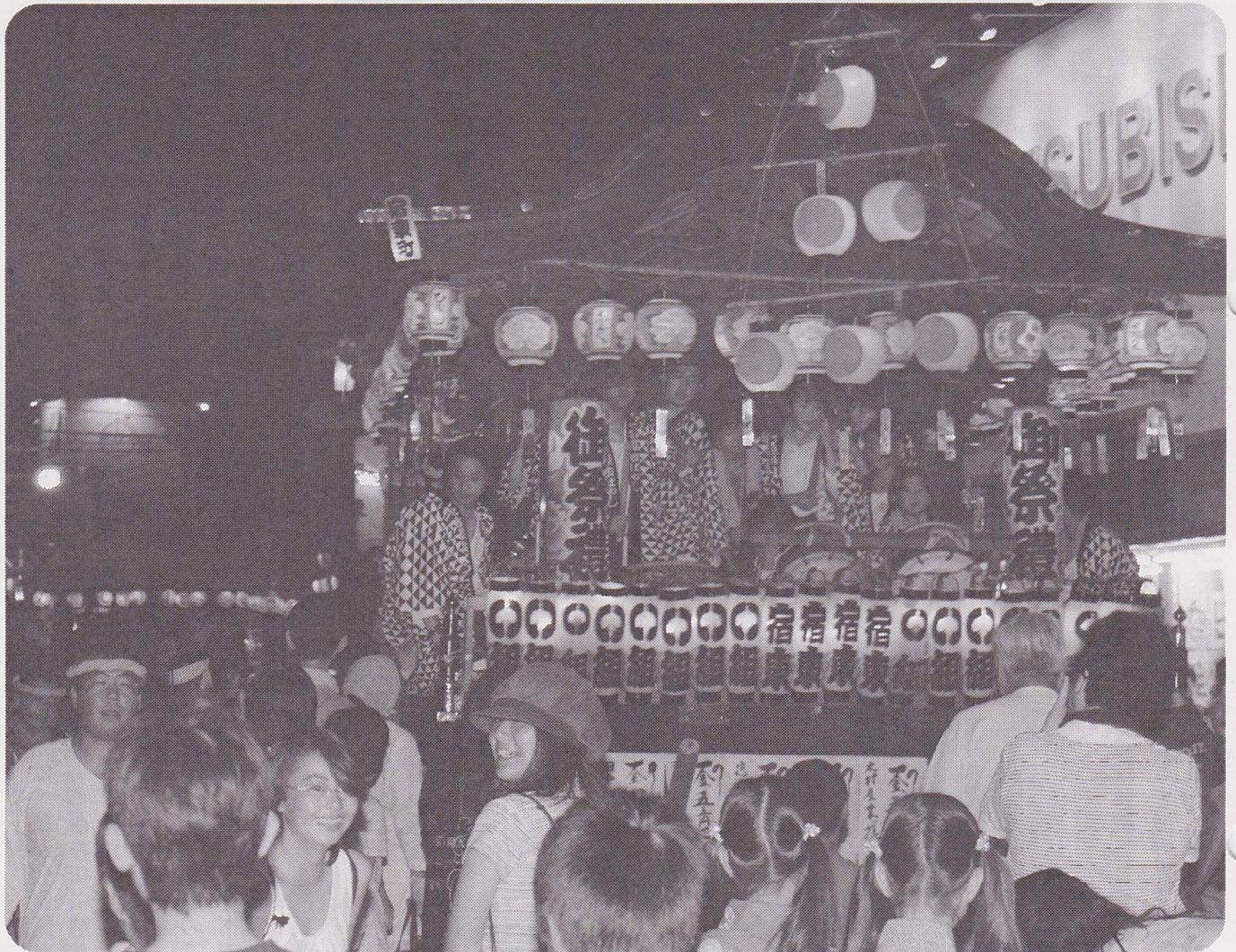


公民館かながわ



— 目 次 —

特集

「学校と公民館」

藤沢市立藤沢公民館

西山 紀明……………2

平成十六年度総会を終えて

「月刊 公民館」の購読を

……………4

公民館総合保障制度案内……………5

サークル紹介……………6

「中里西ステップ友の会」

(二宮生涯学習センター)

「ラベンダーガーデン」

(南足柄市福沢公民館)

わが館の自慢事業……………7

「小中高生のフリーマーケット」

立 (茅ヶ崎市 小和田公民館)

職員からの一言

綾瀬市中央公民館

見上 沙栄子……………8

編集後記……………8

特集その① 「学校と公民館」

「公民館と学校のかかわり」～公民館職員の役割～



〔公民館まつりにボランティアとして参加する中学生〕

生涯学習社会の定着とともに、「学社融合」施策の形で学校教育の現場に、これまで公民館の育ててきた地域の教育力（サークルや指導者、地域情報などのノウハウ）が活かされはじめました。同時に公民館は、学校という児童・生徒を抱える組織とかがわることで、あらたな可能性を拓く機会を得たともいえます。本年度は、地域ですすむ、公民館と学校の連携にスポットを当てます。

このテーマは、私が公民館・社会教育に係わってから折に触れて社会教育の分野で課題とされる古くて新しいテーマだと思えます。藤沢市では平成十一年度の二中学校区の試行を経て、現在市内十九校区で「学校・家庭・地域」連携推進事業（別名三者連携事業）を実施しております。

この事業の目的は子どもたちの健やかな成長を支援するため、学校に依存しがちであった教育を学校・家庭・地域が新たに連携を組み、それぞれが持つ機能を発揮することにより、変化する社会に対応できる青少年の健全育成のための環境づくりと地域組織のネットワーク化を推進する。そのために十九中学校区ごとに地域協力者会議を組織し、地域の課題は何か、その解決に地域はどう対応し、子どもたちの自己実現に向けた支援体制を構築することを目的にしています。

地域支援者会議のメンバー構成は学校の代表、家庭（PTAの代表）、地域（地域団体の代表等）から概ね十五から二十人程度の人員で組織されています。

事業としては地域協力者会議を開催し、子どもを取り巻く課題等の解決のための話し合い、子ども

いちのみやはちまんのつかやたいしんこう
一之宮八幡大神屋台神賑

一之宮の八幡大神の祭礼に行われる行事で、明治の初期の頃に始められた。祭礼は八月一日で、その前日の宵宮に西町・宿東町・北町から一台ずつ出され、屋台が、太鼓や鉦の音に乗って引き回しが行われる。

かつては若い衆が木遣り唄を歌いながら屋台を引き回し、ときには屋台同士がぶつかり合って喧嘩になるほど賑やかで勇壮であり、近郷には見られない祭りである。

現在は八月の第一土・日曜日に行われており、昭和五十一年には町重要文化財に指定された。

動力は人力で、沿道に集まった老若男女が太鼓や鉦の音に合わせて綱を引いている。

また、屋台の方向を変えるには「ちゃんぎり」と呼ばれる梃子棒を用いて屋台を持ち上げ、回転させながら巡行している。

寒川町

の地域活動への参画の支援、学校教育（業務）の検討などを協議します。

また、地域事業として

○地域づくりのための学習会、シンポジウムなどの実施

○子どもたちと親、地域の人たちとのふれあい事業などを開催します。

予算については、今年度は各校区、二十七万円の委託金で実施しています。

◎具体的な取り組み内容

藤沢公民館では二校区の事務局を担当していますが、そのうちの一校区の事例について紹介させていただきます。

この校区の地域協力者会議の名称は「たまじやり応援団会議」、名前の由来は中学校の応援歌「砂利は砂利でも磨けば玉になる」から子どもをじやりに見立て、その子どもたちを応援する会議という意味です。

この校区の学校は中学校一校、小学校二校、委員は学校長、PTA代表、民生委員代表、公民館運営委員、青少協代表、社体協代表など十五名で構成されています。

「たまじやり応援団会議」ではイベントを開催して子どもたちの関心を集めることより、例えば登

校時の挨拶などを通じて子どもたちと顔見知りになり日常の生活の中で子どもたちをさりげなく見守ってゆこうとしているのが、委員の中の共通認識です。

しかしながら、時に応じてイベント事業も必要であり、いくつかの事業も開催しています。

その一つに「公民館まつり」での中学生によるボランティア活動があります。これは「公民館まつり」における様々な事に協力してもらおうわけですが、ボランティアとして参加するのは中学生本人の意思で決めてもらいます。そのため中学校にお願いしてボランティア募集の周知をしていただき、毎年三十人程度の中学生に協力していただいています。

やっていただく内容は来館者の自転車の整理、館内の清掃、模擬店の手伝いなどですが、公民館としては、人手不足の補完として手伝ってもらうのではなく、ボランティア活動を通じて地域の人たちと接したり、仕事の手順を教えるもらい、学校生活とは違った日常生活の知恵を学んでもらうことに主眼を置いています。参加した中学生は両親から仕事の手順等を教えてもらうより、他の大人から教えるもらうことに新鮮さを感じたり、

「学校まるごと楽しむ会」の活動



エリアを地域の方から募り約三十名の方が登録されています。この方々は校区内の学校の花壇の整備などの折、中学生を指導しながら共同作業を通して世代交流を図っております。

◎その他の連携事業

学校と公民館との連携では、「公民館出前講座」があります。この事業は学校側からの依頼で実現したもので、公民館のグループ・サークルの協力を得て、それぞれのサークルが持っている人的・物的資源を活用して中学生に生活技術や国際交流、武道などを教えるもので、会場は学校の施設や公民館の施設を使って毎年行っております。

◎今後の方向

今まで述べてきました事業は学校の生徒が参加をする形で行っておりますが、これからは中学生や小学生が地域の人やサークルの人と事業の企画段階から共同作業を行う「参画」の段階に進めたいと思っております。

藤沢市立公民館

西山紀明

自分のしたことが役立つことに充足感を得たようです。

また、中学生と一緒に仕事をした大人は、世代の異なる若い人との共同作業を楽しんでくれたようです。来館の方も公民館で中学生がいきいきと活動していることに好感を持っていました。

この三者連携事業では「学校まるごと楽しむ会」というボランティア

平成十六年度総会を終えて

横須賀市生涯学習センター

平成十六年度の神奈川県公民館連絡協議会総会が、五月十九日、出席六十二名(委任状十九名を含む)のもと、横須賀市生涯学習センターにおいて盛大に開催されました。

総会には、来賓として県教委から金子卓一生涯学習文化財課長の出席をいただき、「県では平成十六年一月に子ども読書活動推進計画を策定し、『神奈川子ども読書二〇〇選』『子ども読書活動推進フォーラム』などに取組んでいる。」との、挨拶があり、子ども読書活動推進に向けて協力要請がありました。

また、総会の会場市となりました横須賀市教委の根市和夫生涯学習部長からは、「公民館活動は地域住民の学習支援や地域づくり、更には子どもの体験活動など、時代の要請に応じた事業を展開してきた。」など、公民館の果たしてきた役割を述べられました。また、「横須賀市は平成十九年に市政一〇〇周年を迎え、国際海の手文化都市を標榜し、『行ってみたい、住んでみたい、潤いと生きがいのある都市』を目指している。」との挨拶がありました。

神崎節生会長からは、「平成十七年八月に、第四十六回関東甲信越静

公民館研究大会を横須賀市で開催するにあたり、多くの方々が参加できるように市町村において旅費等の予算化に努力していただきたい。また、地方公共団体が設置する公の施設の管理について指定管理者制度が導入され、公民館の存在意義が問われてきている。公民館は教育機関であり該当外と思われるが、予断を許さない。関東ブロック大会でもその点をアピールしていきたい。」と力強い挨拶がありました。

議事審議については、評議員・理事の熱心な討議が繰り広げられ平成十五年度事業報告・収支決算報告、十六年度事業計画案・予算案などが全て承認されました。

今年度の県公連のテーマは、「地域社会の創造・再生をめざす公民館」の育て・結び・広げる機能の発揮」のもとに、総務部会、広報部会、館長部会、主事部会、大会部会の五部会を中心に様々な事業が展開されていきます。

なお、今年度は役員の変更期ではないが、一部役員の退職等により変更がありましたので改めて紹介いたします。

「月刊 公民館」の購読を!

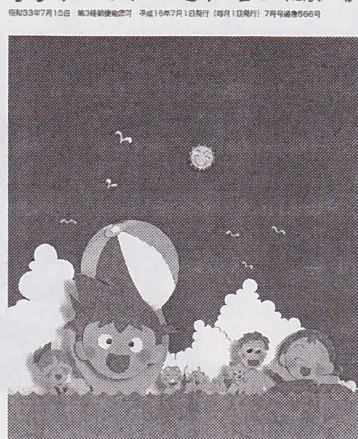
社団法人公民館連合会は、「月刊公民館」を発行しております。昭和三十三年七月創刊、四十六年の歴史を持ち、毎月タイムリーな特集を組んでいます。また、各地の実践事例を紹介しています。八月号では、「指定管理者制度」九月号では「公民館の評価」が特集として組まれています。

また、「読者の広場」「エル・ネットニュースin公民館」「行政だより」「全公連ニュース」なども掲載されており、公民館活動を進める上で多くの示唆を与えてくれる内容となっております。

特集 公民館がわかる

家業承継し「子ども公民館」で地域の公民館「子どもの教育で公助する」を
業態転換し「館」を築く「館」を築く「子ども公民館」で地域の公民館「子どもの教育で公助する」
町内の人々を公民館活動や学校行事などに活用
「子ども公民館」で地域の公民館「子どもの教育で公助する」

月刊公民館 7



脚本家 山田太一氏に聞く
自分のサイズで生きていますか?
地域に開かれた公民館
子どもの可能性を引き出すために
…地域の学習資源を見直す
住民ニーズに応えられる公民館をめざして
…民間協賛社会教育事業者との連携
輪島公民館の取り組み

社団法人 全国公民館連合会

の示唆を
与えてく
れる内容
となっております。
すでに
購読され
ている公
民館も多
いと思っ
ますが、
大勢の公
民館関係
者に購読
をおすす
めします。

申し込み先 〒二〇五-〇〇〇一 東京都港区虎ノ門一-一十七-一

森ビル内 社団法人全国公民館連合会

電話 〇三-三三三-〇一-九六六六
FAX 〇三-三三五-〇一-三四八一

定価五百六十円。



サークル紹介

<その1>

中里西ステップ友の会 二宮生涯学習センター



私たち「中里西ステップ友の会」は十年前に全然ダンスができない人たちが集まって始めたものですが、始めてからの一年間は何を習っているのかさっぱりわからず、とくに男性は覚えることが多くて、いつになつたら踊れるようになるのか不安でした。

私たちが「中里西ステップ友の会」は十年前に全然ダンスができない人たちが集まって始めたものですが、始めてからの一年間は何を習っているのかさっぱりわからず、とくに男性は覚えることが多くて、いつになつたら踊れるようになるのか不安でした。

しかし矢内先生の励ましと、おだてに乗って、一生懸命に練習をしたおかげで、いつしかワルツ、タンゴはもちろん、ルンバ、チャチャチャまで踊れるようになり、パーティーに行つても全然困らなくなりました。

また、アマチュアダンス競技会にも興味を持ち、競技会に参加して活躍している方もいます。

神奈川県でダンスをやられている方の平均年齢は六十歳を超えています。ダンスをやられる方は姿勢がすっきりしているつまでも若々しく、本当に健康に良いものだ、つくづく思います。猫背だったのが姿勢が良くなり、背丈も六十歳を過ぎてから三センチも伸びた方がいます。

定年を過ぎられて特別の運動をなさっていない方は、是非ダンスをはじめられることをお勧めします。神奈川県ほとんどの公民館にダンスサークルはあり、どなたでも手軽に始められます。

中里西ステップ友の会 中塚厚生



サークル紹介

<その2>

「ラベンダー・ガーデン」 南足柄市福沢公民館

私たち「ラベンダー・ガーデン」は、今年四月に結成したばかりで、月に一回、福沢公民館で活動しています。

構成メンバーは三十代から六十代と幅広く、職業も専業主婦から各種専門分野で活躍している者など多彩ですが、「ハーブと関わることで、好き」ということで、一致団結しています。

講師は、ハーブ上級インストラクターでアロマセラピストとして大活躍されている尾崎由紀子先生で、素敵で内容の濃い講座をしていただいています。先生所有のハーブガーデンに行き、ラベンダーを摘んだりもします。

美味しいハーブティーを飲みながら、様々なハーブの特性や背景等を教えていただいたり、ハーブを使ってポプリ、リ



ース、押し花などを作ったり、ハーブを使った料理を作ったりと色々なハーブの楽しみ方を教えていただいています。

「ハーブはただ香りのする葉っぱ」と思われがちですが、古代から莫大なトライ&エラーを経て選ばれた薬効の高い植物です。ハーブという自然からの恩恵を受け、食物として医薬品として更に心を癒す手段として見直すきっかけとなるサークル活動にしていきたいです。

サークル活動を行う毎に、メンバーが健康に美容に情緒的に満たされる笑いの絶えない、楽しい時間が過ごせたら良いなと思っています。

ラベンダー・ガーデン 古屋清美



わが館の自慢事業

「小中高生のフリーマーケット」

茅ヶ崎市立小和田公民館

物の豊かな時代に生まれ育った子どもたちに物を大切にしてい、また、物をリサイクルすることによってゴミを減らすという環境問題なども学んでほしいという考えから開催したのが、「小中高生のフリーマーケット」です。平成六年に始めたこの事業も今年で十一回目。お店の準備から後片付けまですべて子どもたちが行います。物の売り買いが目的でなく、人との出会いやかかわりを体験して人間関係を楽しく作り出せる人になってほしいという願いもこめられています。



昨年九月に行ったフリーマーケットには、二十四組・四十人の子どもたちが参加してくれました。ただ、参加者は全員小学生。中学生は興味が無いのかなあ？

朝九時、開店の準備です。店舗面積は各一平方メートル。敷物に家庭で不要になったおもちゃ、文房具、本、衣類、手作り品など多種多様な物が並べられ、お店の看板もわかりやすく、値段のつけかたにもアイデアを出し素敵な二十四のお店が並びました。見ていなくても楽しい光景です。

九時三十分、「元気で頑張りましたよ」とみんなで盛り上げて販売開始です。「いらっしやいませ」「ありがとうございます」という元気な声が飛び交い、二百人を超えるお客さんで会場は熱気に包まれました。残暑の中、子どもたちは帽子をかぶっているか、水分を取りすぎているかなど注意しながら見回りましたが、みんな元気に交流を楽しんでいるようでした。十一時三十分の閉店近くになると、子どもたちは箱に品物を入れて他のお店のお友達に売りに行った、品物を交換したり、



値引き交渉をしたり、おまけを付けたら…。そんな精一杯頑張っている子どもたちの姿を見ると、今年もやってよかったと嬉しさがこみ上げてきました。閉店後に行った参加者へのアンケートでは、本日の売り上げは五百五十円から四百二十円までと様々で、その使い道については多くの子どもたちが貯金とのこと。物を大切にすることや、人との交流、売ることの大変さ、自分でもやればできるといふ自信などがうかがえた反面、引っ込み思案の子どもにとっては大変な経験だったようです。

また、少し離れた所から心配げに子どもの様子を見ていたお母さんにとっても新しい発見があったようです。

職員からの一言

綾瀬市教育委員会

市民文化センター管理担当

主事補



見上沙栄子

『公民館職員として』

平成十五年度に障害福祉担当から公民館担当に配属されてから、早くも一年数ヶ月が経ちました。市職員に採用されてから初めての人事異動ということもあり、公民館ではどのような仕事をしていくのかという期待や不安を抱きながら日々が過ぎていきました。

私が勤務している中央公民館では、中央公民館を含め市内地区センター(五館)・市内コミュニティセンター(二館)を管理しています。

各館には、職員または非常勤職員を管理人として二名、社会教育指導員も二名配置し、主に管理人は貸館業務、施設保守業務を行い、学級・講座等の企画、運営業務を社会教育指導員が担当職員と調整を図りながら行っています。また、

講座によつては、市民企画ボランティアを募集し、社会教育指導員とともに立案をしています。

今年の六月に行われた神奈川県教育委員会と神奈川県公民館連絡協議会共催の生涯学習支援者研修「公民館担当者セミナー」に参加した際に様々なことを学びました。①生涯学習は「いつでも・どこでも・だれでも」できるということ。②公民館職員は、専門的な知識を身につけていかなければならないということ。

③講座等を企画するにあたり、地域住民が何を学びたいのかを常に念頭においていかなければならないということ。カルチャーセンターとは違った公民館でなければ学ぶことができないものや地域での現代的課題を見つけ出し、参加者が解決に向けて話し合いのできる講座を設定することが重要であるということ。講師選定では、地域の人材を十分に活用し、また人材の育成に努めるということ。講座を開催する時間帯を昼間から夜間へ、平日から土日祝日にと日程を見直してみるとのこと。参加者の費用は、受益者負担でも学びたければ受講するであろうということ。

④学習の成果を地域・社会に生か

していくということ。

⑤公民館利用者や地域住民とのコミュニケーション・人間関係の構築が重要であるということ。

二年目にこのような研修に参加できたことは良い経験になりました。そして、今回学習したことを念頭に置きながら、今後の仕事に活用していき、公民館職員として努力していきたいと思います。

編集後記

編集会議を大和市の中学校で行い、学校のイメージが変わった。多くの自治体で体育館やグラウンド、余裕教室を生涯学習活動に提供する学校開放が進んでいる。

大和市では渋谷中学校の改築を機に、教室棟と社会教育・体育を目的とした家庭科室、武道場、音楽室、美術室等々の特別教室及び一般の方が利用できる総合学習スペースを配置して、学社共用できるような工夫がされている。

一応に想像される学校のイメージとは違い、木を多様した体育館や教室、厚木飛行場が近いこともあり、空調が完備されている。

開放施設を管理するのは生涯学習センターとスポーツ課である。地域の学習施設として開かれた学校の姿を見ることができ。大和市立渋谷中学校学校開放問い合わせ 生涯学習センター

〇四六二二六〇一五七六三

「関東甲信越静公民館研究大会」準備日程！

今年の東京大会が終わると、いよいよ本県が会場県となります。今年から実行委員会が始動しますので、委員各位のご協力をお願いします。

- 平成16年9月16日(木)幹事会、実行委員会
- 〃 11月2日(火)幹事会、実行委員会、
- 平成17年1月7日(金)幹事会、実行委員会
- 〃 3月10日(木)幹事会
- ◇拡大実行委員会 平成17年5月総会(未定)、8月24日(水)
- ◇大会 平成17年8月25日(木)、26日(金) 会場は横須賀市(芸術劇場ほか)
- ◇ほかに総務・広報・全体会・分科会各ブロック会議が必要に応じて召集されます。
- ※幹事会は県常任理事会を兼ねる。